

ゼミ研究活動の紹介

1. 卒論（発表予定もしくは過去に発表された卒論）と研究内容

■ 卒論やフィールドワーク

- | | |
|------------------|--------------|
| ① イギリスの消えた EU | (平成 28 年度予定) |
| ② めいしだいて知っていますか？ | (平成 28 年度予定) |
| ③ オリンピックの光と影 | (平成 27 年度) |
| ④ 今後の名古屋港 | (平成 26 年度) |
| ⑤ 為替市場は感情で動く | (平成 25 年度) |

以上は、中部経済学インターゼミ（中部圏の他大学のゼミとの交流）での報告タイトルです。

■ ゼミ研究活動（演習時間中での研究内容）

演習Ⅰでは、(1)テキストの共同研究（平成 28 年度：阿部顕三 [2015]『貿易自由化の理念と現実』NTT 出版、平成 27 年度：八代尚宏 [2014]『反グローバリズムの克服—世界の経済政策に学ぶ』新潮選書）、(2)中部経済学インターゼミで研究発表するための共同研究を行う。演習Ⅱでは、ゼミ論文の執筆に向けて研究を進める。

2. 特記事項（研究会、発表などの研究活動）

他大学とのインターゼミ

中部経済学インターゼミに参加し、研究発表を行っている。

平成 28 年 12 月 3 日に報告タイトル①と②を名古屋大学で発表する予定

平成 27 年 11 月 21 日に報告タイトル③を南山大学で発表

平成 26 年 12 月 6 日に報告タイトル④を富山大学で発表

平成 25 年 11 月 30 日に報告タイトル⑤を名古屋学院大学で発表